

高校生と園児 合同避難

男鹿・船越 大地震、津波想定し訓練

男鹿市船越の男鹿工業高校と船越こども園の合同避難訓練が、同園と同校で開かれた。園児や生徒約300人が参加。大規模地震が発生した際の避難手順を確認した。

10月28日に実施。秋田沖で

同園では地震発生直後、職員が園児を園庭に集め、ま



船越こども園の園児が男鹿工業高に避難し、同校の生徒と手順を確認した合同避難訓練

とまって男鹿工へ向かった。男鹿工に到着すると、玄関からは生徒が園児の手を引いて案内。校内の階段を一緒に上りスムーズに垂直避難した。

訓練の最後に男鹿地区消防署東分署の担当者が講評。異常事態でも「自分は大丈夫」と都合よく解釈し危険を軽視する「正常性バイアス」に触

れ「いざという時にこのようないざという心理にならないため、訓練が重要。やらされるのではなく、自ら考えて動いてほしい」と呼びかけた。

男鹿工の鴨田歩さん(3年)は「本当に大災害が起きた時にすぐに動き、避難先でみんなのために行動できるようにしたい」と語った。

(阿部拓郎)